

令和3年 夏の交通安全運動が始まります

この時期は、暑さなどにより道路利用者の安全意識や集中力が低下しがちになる上、新型コロナウイルス感染症の影響から人や車の流れが予測しにくいこともあり、思わぬ事故が発生する恐れがあります。

交通事故は、一人ひとりの心掛けで減らすことができます。交通事故により悲しい思いをする方を一人でも減らすため、車も歩行者も、お互いにルールを守り、思いやりを持って道路を利用しましょう。

実施期間 令和3年7月10日(土)から7月19日(月)まで

スローガン ～ 交差点 青でも左右 確認を ～

運動の 重点目標

- ①ゼブラ・ストップ(横断歩行者保護)の徹底
- ②子供と高齢者の安全確保
- ③飲酒運転の根絶
- ④自転車の安全利用の推進(ちばサイクルールの広報)



ゼブラ・ストップ活動実施中!

横断歩道は歩行者優先です。横断歩道を渡っている人や渡ろうとしている人がいる場合、車は停車しなければいけません。車を運転するときは、「ゼブラ・ストップ活動」を実践し、交通事故をストップしましょう。

ゼブラ・ストップ
活動啓発用
動画はこちら



「前」方

「前方」をよく見て運転、横断歩道に十分注意

前をよく見て安全運転、横断歩道を見たら、その周りに歩行者等がないか十分注意!

「ブ」レーキ

横断歩道の手前では、「ブレーキ」操作で安全確認

渡ろうとする歩行者等がいるかも知れない場合は、横断歩道の手前で停まれる速度で進もう!

「ラ」イト

横断歩道でも3(サン)・「ライト」で交通事故防止

横断者も反射材等で「ライト」アップ

車の「ライト」早めの点灯、小まめな切り替えで横断者を早期発見

「ライト」(右)からの横断者にも注意

横断する歩行者がいたら… 交通事故…

ストップ

子供と高齢者の事故防止

子供の事故防止 夏休み中も「止まる・見る・待つ」!!

- 登下校時はもちろん、夏休み中も、道路に出る時は「止まる・見る・待つ」を実践するよう、大人がお手本となって繰り返し教えてください。
- 車を運転する方は、学校付近、通学路、住宅街では、子供が飛び出してくる可能性があるため、左右の安全確認を行い、安全な速度で運転してください。

高齢者の事故防止 はればれ運転でいきましょう

- 危険を避けるため、運転する時と場所を選択し、運転能力が発揮できるよう心身及び環境を整え、加齢に伴う運転技能の低下を補う運転方法を心がけましょう。

例えば…

- 雨などで視界が悪い日 ▶ 外出日を晴れた日に変更する
- 長距離の外出 ▶ 外出先を近所に変更する
- 体調不良時の外出 ▶ 公共交通機関を利用する

飲酒運転「しない!」「させない!」「許さない!」

飲酒運転は犯罪です。「これくらいなら」、「少しの距離だから」という安易な気持ちは捨て、飲酒運転は絶対にしないようにしましょう。飲酒した翌日にもアルコールの影響があることを認識し、飲酒量・飲酒時間に配慮しましょう。

酔いがさめるまでの時間の目安

お酒の酔いがさめる時間は個人差があります。お酒を飲んだ日は、運転してはいけません。

アルコールが体内から
抜ける時間

純アルコール20gを含む酒量 = 1 単位

ビール 500ml	日本酒 180ml	ウイスキー 60ml	ワイン 200ml	チューハイ 350ml	焼酎 100ml
アルコール度 5%	アルコール度 15%	アルコール度 43%	アルコール度 12%	アルコール度 7%	アルコール度 25%

1 単位分の分解時間：約4時間

※体重約60kgの標準的な成人男性の場合(個人差があります)

※「一眠りしたから大丈夫」は禁物です。寝ているときは起きている時に比べて、アルコールの分解が遅くなります。(政府広報オンラインより)